

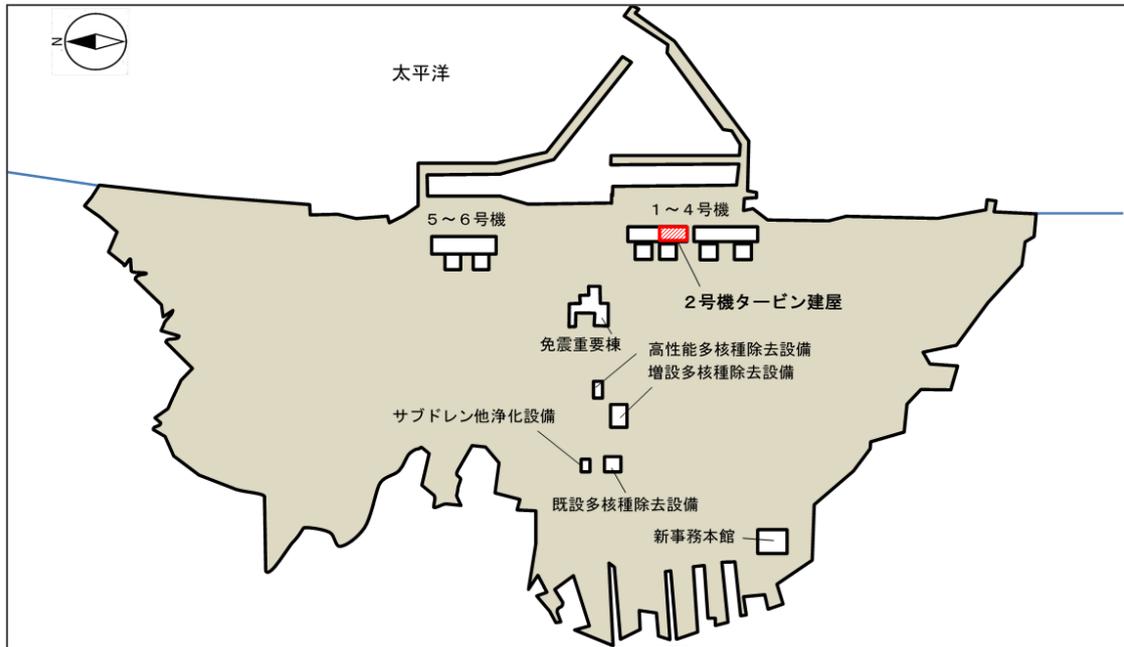
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年9月9日（金）
- 2 確認箇所
2号機タービン建屋
- 3 確認項目
2号機窒素封入設備追設ライン設置工事完了後の状況

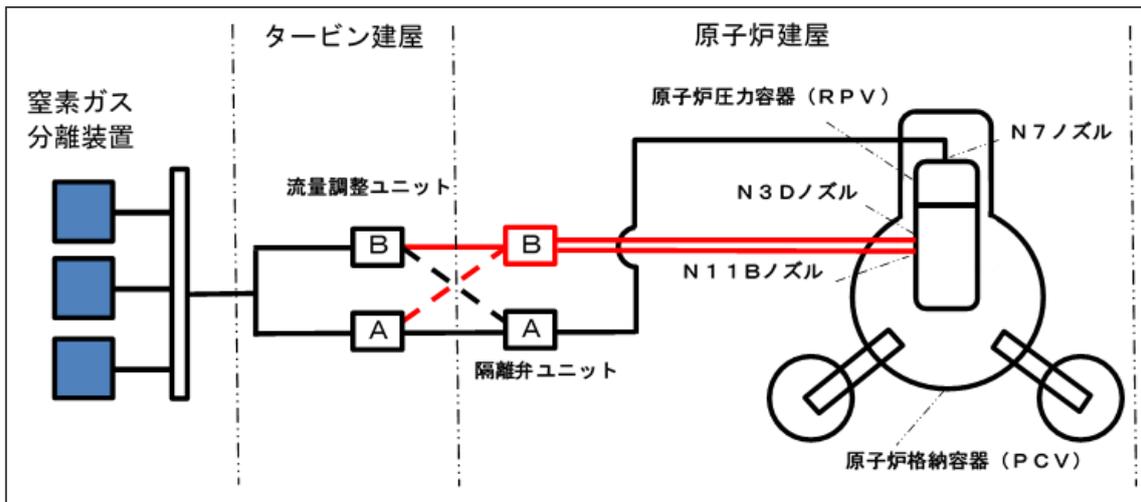
4 確認結果の概要

原子炉格納容器（PCV）内の不活性雰囲気を維持するために、窒素封入設備を用いて、1～3号機原子炉压力容器内に窒素を充填しているが、窒素封入設備の信頼性向上を目的として、2号機の窒素封入ラインの追設工事が実施されたことから、2号機タービン建屋内に設置されている流量調整ユニット並びに窒素封入ラインの状況を確認した。なお、2号機の窒素封入ラインについては、これまで原子炉压力容器上部のN7ノズルまでの単一構成となっていたが、今回の改造工事により、原子炉压力容器側部のN3DノズルとN11Bノズルから窒素の封入が可能となった。（図1、図2）

- ・流量調整ユニットは2号機タービン建屋1階の西側の通路に設置されており、誤接触防止のため金属製のフェンス内に設置されていた。（写真1）
- ・通路床面に設置されている窒素封入ラインについては、ラインの保護のために金属製トラフ内に収められていた。また当該ラインには窒素封入ラインであることを示す標示が複数取り付けられていた。（写真2）
- ・東京電力によると、8月23日、24日に使用前検査（社内検査）として通気確認を行い、9月1日に原子力規制庁による使用前検査を受検し、設備に異常は確認されなかったとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 窒素封入設備系統概要図

(赤線：追設箇所、黒線：既設箇所、点線：予備ライン)



(写真1-1)

流量調整ユニットの誤接触防止用の
金属製フェンス



(写真1-2)
流量調整ユニット



(写真2-1)
窒素封入ラインが収納されている
金属製トラフ（2号機タービン建屋
1階西側通路の状況）



(写真2-2)
窒素封入ライン識別用の標示

- 5 プラント関連パラメータ確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。